

資料12

東久留米市  
子ども・子育て会議資料  
平成25年8月28日

# ニーズ調査票

東久留米版（案）

## 回答するに当たってお読みください

東久留米市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、幼児教育（幼稚園等）・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度から実施予定）。

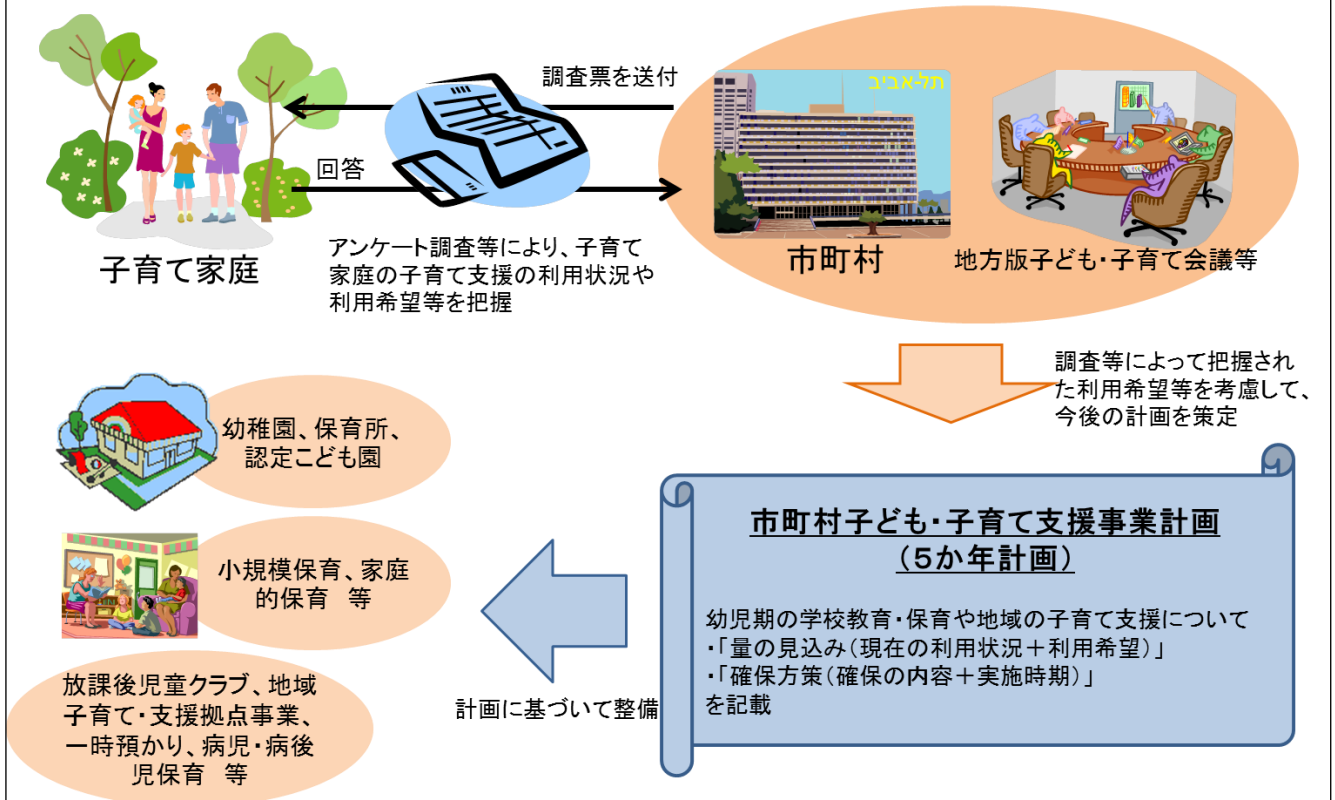
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・ 幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設  
(児童福祉法第39条)
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、  
問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

## お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1つに○をつけて、□丁目に数字でご記入ください。

- |        |        |             |         |        |         |
|--------|--------|-------------|---------|--------|---------|
| 1. 上の原 | 5. 大門町 | 9. 学園町      | 13. 幸町  | 17. 南町 | 21. 野火止 |
| 2. 神宝町 | 6. 東本町 | 10. ひばりが丘団地 | 14. 中央町 | 18. 滝山 | 22. 八幡町 |
| 3. 金山町 | 7. 新川町 | 11. 本町      | 15. 南沢  | 19. 下里 | 23. 弥生  |
| 4. 氷川台 | 8. 浅間町 | 12. 小山      | 16. 前沢  | 20. 柳窪 |         |

丁目（東本町及びひばりが丘団地は除く）

## 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月、現在の年齢をご記入ください。

平成\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月生まれ（\_\_\_\_\_歳）

問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。

お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

1. きょうだい数\_\_\_\_\_人 2. 末子の生年月 平成\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月生まれ（\_\_\_\_\_歳）

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（\_\_\_\_\_）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（\_\_\_\_\_）



問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問 10-1 へ

2. いない／ない ⇒ 問 11 へ

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                |                   |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 祖父母等の親族                     | 2. 友人や知人          |
| 3. 近所の人                        | 4. 子ども家庭支援センター    |
| 5. 子育て支援施設（地域子ども家庭支援センター、児童館等） |                   |
| 6. 市健康課・保健所                    | 7. 保育士            |
| 8. 幼稚園教諭                       | 9. 民生委員・児童委員      |
| 10. かかりつけの医師                   | 11. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 12. その他 【例】ベビーシッター、NPO         |                   |

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

## 宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

※ここでいう「フルタイム」とは、「1週5日程度・1日8時間程度の就労」をいい、  
「パート・アルバイト等」とは「フルタイム以外の就労」をいいます

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |   |     |          |
|---|-----|----------|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない<br>2. フルタイム（で就労しているが、産休・育休・介護休業中である<br>3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない<br>4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | } ⇒ | (1) -1 へ |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない<br>6. これまで就労したことがない  | } ⇒ | (2) へ    |

(1) -1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

a. 1週当たり _____ 日	b. 1日当たり _____ 時間
------------------	-------------------

(1) -2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 8時～18時のように、24時間制でお答えください。

a. 家を出る時刻 _____ 時	b. 帰宅時刻 _____ 時
-------------------	-----------------

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |  |     |          |
|--|-----|----------|
| 1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない<br>2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である<br>3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない<br>4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である | } ⇒ | (2) -1 へ |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない<br>6. これまで就労したことがない   | } ⇒ | 問 14 へ   |

(2) -1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

a. 1週当たり _____ 日	b. 1日当たり _____ 時間
------------------	-------------------

- (2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず「18」時のように、24時間制でお答えください。

a. 家を出る時刻 \_\_\_\_\_ 時                      b. 帰宅時刻 \_\_\_\_\_ 時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する下線部に数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
  2. 1年より先、一番下の子どもが \_\_\_\_\_ 歳になったところに就労したい
  3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
→希望する就労形態                      }
- ア. フルタイム  
イ. パートタイム、アルバイト等
- a. 1週当たり \_\_\_\_\_ 日    b. 1日当たり \_\_\_\_\_ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
  2. 1年より先、一番下の子どもが \_\_\_\_\_ 歳になったところに就労したい
  3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
→希望する就労形態                      }
- ア. フルタイム  
イ. パートタイム、アルバイト等
- a. 1週当たり \_\_\_\_\_ 日    b. 1日当たり \_\_\_\_\_ 時間



## 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の 利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。  
具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。  
当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 15-1 へ                      2. 利用していない ⇒ 問 15-5 へ

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

また、平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）0 9 時～1 8 時のように 2 4 時間制でご記入ください。

	現在の利用状況		今後の利用希望	
	週当たりの 利用日数	1 日当たりの 利用時間	週当たりの 利用日数	1 日当たり の利用時間
<b>1. 幼稚園</b> (通常の就園時間の利用)	_____ 日	_____ 時～ _____ 時	_____ 日	_____ 時～ _____ 時
<b>2. 幼稚園の預かり保育</b> (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	_____ 日	_____ 時～ _____ 時	_____ 日	_____ 時～ _____ 時
<b>3. 認可保育所</b> (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	_____ 日	_____ 時～ _____ 時	_____ 日	_____ 時～ _____ 時
<b>4. 認定こども園</b> (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	_____ 日	_____ 時～ _____ 時	_____ 日	_____ 時～ _____ 時
<b>5. 家庭的保育</b> (保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	_____ 日	_____ 時～ _____ 時	_____ 日	_____ 時～ _____ 時
<b>6. 事業所内保育施設</b> (企業が主に従業員用に運営する施設)	_____ 日	_____ 時～ _____ 時	_____ 日	_____ 時～ _____ 時
<b>7. 認証保育所、定期利用保育事業</b> (東京都が独自の基準を設けて認めた施設)	_____ 日	_____ 時～ _____ 時	_____ 日	_____ 時～ _____ 時
<b>8. その他の認可外の保育施設</b>	_____ 日	_____ 時～ _____ 時	_____ 日	_____ 時～ _____ 時
<b>9. 居宅訪問型保育</b> (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	_____ 日	_____ 時～ _____ 時	_____ 日	_____ 時～ _____ 時

	現在の利用状況		今後の利用希望	
	週当たりの 利用日数	1日当たりの 利用時間	週当たりの 利用日数	1日当たり の利用時間
10. ファミリー・サポート・ センター (市に登録した地域住民が、子どもを預 かる事業)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時
11. その他 (_____)	_____日	_____時～_____時	_____日	_____時～_____時

問 15-2 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. 東久留米市内
2. 清瀬、小平、東村山、西東京、新座のいずれかの市
3. その他の区市町村

問 15-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（\_\_\_\_\_）

問 15-4 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため ⇒ a. (\_\_\_\_\_歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他（\_\_\_\_\_）

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 認証保育所、定期利用保育事業 (東京都が独自の基準を設けて認めた施設)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (市に登録した地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ( )
13. どれも利用するつもりがない	

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 東久留米市内	2. 他の区市町村
-----------	-----------

## 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（当市では「子育てひろば（地域こども家庭支援センター上の原・地域子育て支援センターはこぶね館）」、「健康課の育児相談」が該当します）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業  
1 週当たり \_\_\_\_\_ 回 もしくは 1 ヶ月当たり \_\_\_\_\_ 回程度
2. その他の類似の事業（具体名： \_\_\_\_\_）  
1 週当たり \_\_\_\_\_ 回 もしくは 1 ヶ月当たり \_\_\_\_\_ 回程度
3. 利用していない

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい  
1 週当たり \_\_\_\_\_ 回 もしくは 1 ヶ月当たり \_\_\_\_\_ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
1 週当たり 更に \_\_\_\_\_ 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に \_\_\_\_\_ 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用した い	
① プレ・パパママクラス	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
② 健康課の情報・育児相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③ 家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④ 教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥ 赤ちゃんふらっと	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦ 子ども家庭支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧ 子育てひろば（地域こども家庭支援センター上の原）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨ 子育てひろば（地域子育て支援センターはこぶね館）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

**問 20** 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

**(1) 土曜日**

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 .....時から .....時まで
---	-----	-------------------------------

**(2) 日曜・祝日**

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 .....時から .....時まで
---	-----	-------------------------------

**問 20-1** 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ( )	

**問 21** 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 .....時から .....時まで
--	-----	-------------------------------

**問 21-1** 問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ( )	





## 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を 伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育利用以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	_____日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	_____日
3. ファミリー・サポート・センター （市に登録した地域住民が子どもを預かる事業）	_____日
4. ベビーシッター	_____日
5. その他（ _____ ）	_____日
6. 利用していない	

1から5と回答した方は問24へ

問23で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか わからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ _____ ）	

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をに数字でご記入ください。）。

なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	合計日数
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	_____日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	_____日
ウ. 不特定の就労	_____日
エ. その他（ _____ ）	_____日
2. 利用する必要はない ⇒ 問25へ	

問 24-1 へ  
次ページの



問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)
3. ファミリー・サポート・センター (市に登録した地域住民が子どもを預かる事業)
4. ベビーシッター
5. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設などで休日・夜間、子どもを保護する事業) ※現在、東久留米市では実施しておりません。
6. その他 ( )

問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含まれます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてアからカの当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	_____日
← イからカと答えた方は 次ページの問26へ	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	_____日
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	_____日
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	_____日
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	_____日
	カ. その他 ( )	_____日
2. なかった		

問 25 で「1. あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

## 宛名のお子さんが来年から小学校に入学する方に、小学校 就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

※平成 19 年 4 月 2 日～平成 20 年 4 月 1 日生まれのお子さん

⇒ その他の方は、問 30 へ

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週_____日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週_____日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週_____日くらい
4. 児童館 ※	週_____日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週_____日くらい → 下校時から_____時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週_____日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週_____日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「5.」に回答

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週_____日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週_____日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週_____日くらい
4. 児童館 ※1	週_____日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週_____日くらい → 下校時から_____時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週_____日くらい
7. 放課後子ども教室 ※2 (現在、東久留米市では実施しておりません。)	週_____日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週_____日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「5.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。

問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		_____時から _____時まで
3. 利用する必要はない		

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		_____時から _____時まで
3. 利用する必要はない		

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		_____時から _____時まで
3. 利用する必要はない		



問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

(1) 母親

- |                    |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である     |
| 3. 育児休業中に離職した      |

(2) 父親

- |                    |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である     |
| 3. 育児休業中に離職した      |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つ に○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。下線部に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間	_____歳 _____ヶ月	希望	_____歳 _____ヶ月
---------	----------------	----	----------------

(2) 父親

実際の取得期間	_____歳 _____ヶ月	希望	_____歳 _____ヶ月
---------	----------------	----	----------------

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

_____歳 _____ヶ月
----------------

(2) 父親

_____歳 _____ヶ月
----------------

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため        | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 ( )             |                         |

②父親

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため        | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 ( )             |                         |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他 ( )            |                           |

②父親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他 ( )            |                           |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- |   |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した                                   |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）             |

(2) 父親

- |   |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した                                   |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）             |



